

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	309,000,000株	2022年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	148株	2022年12月期	121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	308,999,876株	2022年12月期3Q	308,999,948株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、お客さまの嗜好・ニーズを捉えた上質でユニークな商品を提案し、お客さまとともに新たなおいしさ、健やかさ、楽しさを創造し続けそれぞれの市場で最も愛される会社となることを目指すという考えのもと、ブランド強化や新規需要の創造に注力したほか、品質の向上に取り組みました。また、各エリアにおいて事業構造改革を進め、収益力の強化にも取り組みました。

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～9月30日）において、主要国の需要状況を着実に捉え、全セグメントでコアブランドへの集中活動を継続しました。日本においては、好天の影響もあり、販売数量が清涼飲料市場成長(当社推定)を上回りシェアを拡大したことに加え、海外においても、欧州における天候不順やベトナムにおける景況感の悪化等の影響を受けましたが、主要国において販売数量が堅調に推移しました。

売上収益は、日本における2022年10月からのPET製品及び2023年5月からの缶製品の価格改定並びに海外における機動的な価格改定を含めたRGM（レベニューグロスマネジメント）も寄与し、全セグメントで増収となりました。

営業利益は、原材料高及び為替変動によるコスト増の影響を概ね想定通りに受ける中、売上収益の伸長とコストマネジメントの徹底により吸収し、増益となりました。

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～9月30日）の連結売上収益は1兆1,934億円（前年同期比10.4%増、為替中立6.3%増）、連結営業利益は1,168億円（前年同期比1.6%増、為替中立3.4%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は672億円（前年同期比1.3%減、為替中立5.4%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、組織変更に伴い、従来「アジアパシフィック事業」に含めていたアフリカ事業を、第1四半期連結累計期間（2023年1月1日～3月31日）より「アジアパシフィック事業」から「欧州事業」に組み替えています。これに伴い以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しています。

[日本事業]

当第3四半期連結累計期間において、人流の回復に伴う需要増や、当第3四半期連結会計期間（2023年7月1日～9月30日）における記録的な猛暑が寄与しましたが、価格改定の影響もあり、清涼飲料市場（当社推定）は前年同期をわずかに下回りました。水・コーヒー・無糖茶カテゴリーを中心にコアブランド強化に取り組み、新商品発売やマーケティング活動が貢献したことに加え、清涼飲料市場と同様に猛暑が寄与し、販売数量は当第3四半期連結累計期間において過去最高を達成するとともに、市場シェアを更に拡大しました。

「サントリー天然水」は、前年の大幅伸長を更に上回り、当第3四半期連結累計期間において販売数量は過去最高となりました。ナチュラルミネラルウォーターで、力強い伸長が続いていることに加え、「きりっと果実」シリーズや「特製レモンスカッシュ」が販売数量の増分に寄与しました。「BOSS」は、ブランド全体の販売数量が前年同期をわずかに下回りましたが、既存製品が堅調に推移したことに加え、「ボス カフェイン」が増分に寄与したこと等もあり、缶製品の販売数量は前年同期を上回りました。「伊右衛門」は、緑茶市場全体が価格改定の影響を大きく受ける中、ブランド全体の販売数量が前年同期を下回りました。2022年2月に機能性表示食品として新発売した「伊右衛門 濃い味」は、引き続き好調に推移しました。「GREEN DA・KA・RA」は、ブランド全体の販売数量が前年同期を上回り、当第3四半期連結累計期間において過去最高の販売数量となりました。2023年4月に「GREEN DA・KA・RA」本体及び「やさしい麦茶」のリニューアルを実施したことや、新商品の「やさしいルイボス」が好調に推移したことが販売数量の増分に寄与しました。

売上収益は、販売数量増に加え、2022年10月及び2023年5月からの価格改定効果も寄与したことにより、増収となりました。

セグメント利益については、売上収益の伸長に加え、原材料高及び為替変動の影響が想定内に収まったこともあり、増益となりました。

日本事業の売上収益は5,387億円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は373億円（前年同期比30.3%増）となりました。

[アジアパシフィック事業]

アジアパシフィックでは、清涼飲料事業及び健康食品事業のコアブランド集中活動を継続しました。健康食品事業の回復に時間がかかっている中、清涼飲料事業は当第3四半期連結累計期間において、堅調に推移しました。

売上収益は、清涼飲料事業の堅調な販売数量に加え、主要市場における価格改定効果も継続的に寄与し、前年同期を上回りました。

セグメント利益については、清涼飲料事業は増収効果により原材料高等のコスト影響を吸収しましたが、健康食品事業の売上収益減少の影響を大きく受けるとともに、前第2四半期連結会計期間において計上したオセアニアのフレッシュコーヒー事業譲渡による譲渡益の反動もあり、減益となりました。

主要事業別には、ベトナムでは、景況感の悪化や前年の需要拡大の反動影響を受ける中、主力のエナジードリンク「Sting」、茶飲料「TEA+」を含め、主要ブランドの活動を強化した結果、販売数量が伸長しました。タイでは、インフレの低下や観光客需要の回復が進む中、低糖製品を含めた「PEPSI」及び「TEA+」が好調に推移し、販売数量が伸長しました。健康食品事業では、健康食品市場全体に対する消費者の需要減少の影響を大きく受ける中、主力の「BRAND'S Essence of Chicken」のマーケティング活動を徹底し、販売トレンドは徐々に回復してきました。オセアニアでは、主力ブランドであるエナジードリンク「V」のマーケティング活動強化や、「BOSS」の販売数量が前年同期と比べ二桁成長したことが寄与し、引き続き販売数量が前年同期を上回りました。

アジアパシフィック事業の売上収益は2,737億円（前年同期比6.2%増、為替中立0.5%増）、セグメント利益は323億円（前年同期比31.0%減、為替中立33.9%減）となりました。

[欧州事業]

欧州では、天候不順の影響を大きく受ける中、当第3四半期累計連結期間において、主要国において需要が減少し、主要国の販売数量は前年同期を下回りました。

売上収益は、主要国における価格改定を含めたRGM（レベニューグロースマネジメント）も寄与し、増収となりました。

セグメント利益については、原材料高やエネルギー価格上昇の影響を受けましたが、売上収益の伸長及びコスト削減活動により吸収し、増益となりました。

主要国別には、フランスでは、主力ブランド「Oasis」、「Schweppes」及び「Orangina」に引き続き活動を集中しました。「Oasis」の販売数量は引き続き前年同期を上回りました。英国では、主力ブランド「Lucozade」の販売数量が前年同期を上回りました。無糖製品「Lucozade Sport Zero」が好調に推移したことも寄与し、「Lucozade Sport」が、大きく伸長しました。スペインでは、天候不順の影響を大きく受ける中、主力ブランド「Schweppes」の活動を強化した結果、販売数量が前年同期並みとなりました。

欧州事業の売上収益は2,609億円（前年同期比13.0%増、為替中立4.1%増）、セグメント利益は418億円（前年同期比17.2%増、為替中立7.7%増）となりました。

[米州事業]

主力の炭酸カテゴリー及び非炭酸カテゴリーの活動強化に加えて、「Gatorade」の販路拡大が寄与し、販売数量は堅調に推移しました。売上収益は、価格改定効果も寄与し、想定を上回る進捗となりました。

セグメント利益については、売上収益の伸長により、原材料価格や人件費高騰の影響を吸収し、想定を上回る進捗となりました。

米州事業の売上収益は1,201億円（前年同期比24.3%増、為替中立15.4%増）、セグメント利益は151億円（前年同期比20.2%増、為替中立11.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、売上債権及びその他の債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,542億円増加して1兆9,375億円となりました。

負債は、仕入債務及びその他の債務の増加等により前連結会計年度末に比べ312億円増加して7,545億円となりました。

資本合計は、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,230億円増加して1兆1,831億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ528億円減少し、1,479億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益1,175億円、仕入債務及びその他の債務の増加554億円、減価償却費及び償却費533億円等に対し、売上債権及びその他の債権の増加796億円、棚卸資産の増加90億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ353億円減少し、960億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出508億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ261億円増加し、498億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出300億円、配当金の支払250億円、非支配持分への配当金の支払207億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ194億円増加し、1,050億円の支出となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び、第4四半期連結会計期間(2023年10月1日～12月31日)の見通しを踏まえ、2023年2月13日に発表した業績予想を、以下の通り修正します。

第4四半期連結会計期間において、全セグメントでコアブランド集中活動を更に強化することに加え、グローバルポートフォリオの強みを活かし、全社計での持続的な売上成長を目指します。コスト影響が緩和していく想定の下、日本及び海外において、将来も見据えた積極的なブランド投資を展開していきます。

2023年12月 通期連結業績予想の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,531,500	134,500	133,500	95,500	75,500	244.34
今回修正予想 (B)	1,600,000	140,000	140,500	100,000	77,500	250.81
増減額 (B-A)	68,500	5,500	7,000	4,500	2,000	-
増減率 (%)	4.5%	4.1%	5.2%	4.7%	2.6%	-
(ご参考) 前期実績	1,450,397	139,688	139,291	101,099	82,317	266.40

主要在外会社損益の為替換算レートは以下の通りです。

前回発表予想：米ドル130.0円 ユーロ141.0円 英ポンド160.0円 シンガポールドル 98.0円 タイバーツ3.9円 ベトナムドン0.0056円
 今回修正予想：米ドル141.0円 ユーロ152.0円 英ポンド175.0円 シンガポールドル105.0円 タイバーツ4.0円 ベトナムドン0.0059円

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	200,630	147,870
売上債権及びその他の債権	270,969	364,591
その他の金融資産	3,118	3,224
棚卸資産	106,086	122,257
その他の流動資産	25,564	28,336
流動資産合計	606,370	666,278
非流動資産		
有形固定資産	381,511	407,121
使用権資産	48,841	51,490
のれん	264,573	278,847
無形資産	452,444	501,939
持分法で会計処理されている投資	1,305	1,751
その他の金融資産	14,777	14,827
繰延税金資産	6,398	5,392
その他の非流動資産	7,125	9,888
非流動資産合計	1,176,978	1,271,259
資産合計	1,783,349	1,937,537

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	57,996	52,191
仕入債務及びその他の債務	384,366	457,521
その他の金融負債	34,026	24,034
未払法人所得税等	18,098	17,806
引当金	1,417	1,373
その他の流動負債	8,254	8,591
流動負債合計	504,160	561,520
非流動負債		
社債及び借入金	64,752	25,000
その他の金融負債	44,987	44,775
退職給付に係る負債	13,732	14,903
引当金	5,722	6,000
繰延税金負債	84,922	95,595
その他の非流動負債	4,965	6,654
非流動負債合計	219,083	192,930
負債合計	723,244	754,451
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	182,229	182,229
利益剰余金	594,773	637,072
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	19,834	95,326
親会社の所有者に帰属する持分合計	965,220	1,083,012
非支配持分	94,883	100,073
資本合計	1,060,104	1,183,086
負債及び資本合計	1,783,349	1,937,537

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
	百万円	百万円
売上収益	1,081,394	1,193,401
売上原価	△664,736	△747,230
売上総利益	416,658	446,171
販売費及び一般管理費	△311,620	△328,780
持分法による投資損益	238	110
その他の収益	18,395	2,338
その他の費用	△8,713	△3,068
営業利益	114,958	116,771
金融収益	1,383	3,157
金融費用	△1,511	△2,440
税引前四半期利益	114,830	117,487
法人所得税費用	△32,719	△33,786
四半期利益	82,111	83,701
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	68,020	67,169
非支配持分	14,090	16,532
四半期利益	82,111	83,701
1株当たり四半期利益(円)	220.13	217.38

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	82,111	83,701
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	277	144
確定給付制度の再測定	55	△101
純損益に振り替えられることのない項目合計	332	42
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	73,058	83,894
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	1,036	391
持分法投資に係る包括利益の変動	198	159
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	74,293	84,445
税引後その他の包括利益	74,626	84,488
四半期包括利益	156,737	168,189
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	128,307	142,950
非支配持分	28,429	25,238
四半期包括利益	156,737	168,189

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2022年1月1日	168,384	182,423	536,996	△0	△27,210	860,593	83,358	943,952
四半期利益			68,020			68,020	14,090	82,111
その他の包括利益					60,287	60,287	14,339	74,626
四半期包括利益合計	—	—	68,020	—	60,287	128,307	28,429	156,737
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△24,101			△24,101	△12,471	△36,573
非支配持分との取引		△193	193			—	1	1
利益剰余金への振替			△639		639	—		—
所有者との取引額合計	—	△193	△24,547	△0	639	△24,102	△12,469	△36,572
2022年9月30日	168,384	182,229	580,470	△0	33,715	964,799	99,318	1,064,117

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2023年1月1日	168,384	182,229	594,773	△0	19,834	965,220	94,883	1,060,104
四半期利益			67,169			67,169	16,532	83,701
その他の包括利益					75,781	75,781	8,706	84,488
四半期包括利益合計	—	—	67,169	—	75,781	142,950	25,238	168,189
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当金			△25,028			△25,028	△20,178	△45,207
非支配持分との取引			△130			△130	130	—
利益剰余金への振替			289		△289	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△24,870	△0	△289	△25,159	△20,048	△45,207
2023年9月30日	168,384	182,229	637,072	△0	95,326	1,083,012	100,073	1,183,086

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	114,830	117,487
減価償却費及び償却費	53,860	53,309
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	1,903	161
受取利息及び受取配当金	△945	△3,113
支払利息	1,453	1,868
持分法による投資損益(△は益)	△238	△110
子会社株式売却損益(△は益)	△16,020	△190
棚卸資産の増減額(△は増加)	△19,241	△8,996
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△49,360	△79,592
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	61,942	55,366
その他	4,521	△10,619
小計	152,704	125,571
利息及び配当金の受取額	419	2,782
利息の支払額	△1,123	△1,280
法人所得税の支払額	△20,705	△31,084
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,295	95,990
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△40,852	△50,778
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	314	102
事業譲渡による収入	—	613
子会社の売却による収入	17,840	—
その他	△1,047	258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,745	△49,803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△6,402	△2,302
長期借入れによる収入	6,577	—
長期借入金の返済による支出	△38,672	△30,000
社債の償還による支出	—	△15,000
リース負債の返済による支出	△10,128	△12,055
配当金の支払額	△24,101	△25,028
非支配持分への配当金の支払額	△12,953	△20,657
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,682	△105,045
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,867	△58,858
現金及び現金同等物の期首残高	176,655	200,630
現金及び現金同等物の為替変動による影響	8,602	6,098
現金及び現金同等物の四半期末残高	207,125	147,870

- (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。